

第4章

重点取組目標

- 1 性別・世代を超えて
地域活動に参画しましょう
- 2 幼児・児童・生徒・教職員・保護者
みんなで学習しましょう
- 3 働きやすい職場・働き続けられる
職場を目指しましょう

男女共同参画社会の実現には、市・市民・事業主及び市民団体が一丸となってさまざまな場に合った取組を進めることが最も近道で、確実であるといわれています。

この計画は、条例に基づく初めての計画となるため、特に地域・教育・職場での重点取組目標を定め、沼津市の男女共同参画社会づくりへの取組を推進します。

1 性別・世代を超えて地域活動に参画しましょう(地域)

市民が、自治会やPTAなどの地域活動団体の取組に積極的に参画することは、地域社会を結びつけるために重要なことです。

しかしながら、「仕事が忙しい」「活動の情報がない」「人間関係が難しいから」など、さまざまな理由で地域社会活動へ参加・参画が十分進んでいないのが現状です。

そこで、地域での取組として住民の参加・参画を拒む課題を地域ごとに取り上げ、住民が性別・世代にかかわらず地域ぐるみで解決するため市内のコミュニティから、毎年モデル地区を選び、地区の連合自治会を中心に、アドバイザーによる指導の下、その地域の重点課題に男女共同参画の視点で取り組むモデル地区事業を実施し、市民及び地域活動団体への男女共同参画意識の啓発や浸透を目標とします。

2 幼児・児童・生徒・教職員・保護者みんなで学習しましょう(教育)

教育に携わる教職員や保護者の男女共同参画意識・指導力は、次世代を担う幼児・児童・生徒の男女共同参画意識形成に大きな影響を及ぼします。

そこで、教育に携わる者が、正しい理解をするための学習機会を確保することが重要です。またその学習で得たことを活かしながら、幼児教育から進学・就職指導に至るまで、個人の適正や意思を尊重し選択がなされるよう、次世代への適切な指導・教育を行うことが重要です。

そこで、教育の場では次の2つの取組を目標とします。

- (1) 教職員・保護者などの教育に携わる者への意識改革や指導力向上のためのセミナーなど、学習機会を充実させる。
- (2) 児童・生徒の人権教育や性教育を充実させ、次世代を担う子どもたち一人ひとりが性別にかかわらず、その個性と能力を伸ばしながら社会の一員となるための教育を実現させる。

3 働きやすい職場・働き続けられる職場を目指しましょう(職場)

労働者は、男女にかかわらず個人の能力を伸ばし、活用する機会の提供や、家庭・地域とのつながりの中で仕事を続けられるための柔軟な休暇制度など、職場環境の整備を望んでいます。

また事業主は、労働意欲と向上心を持って仕事に臨み、生産性や企業イメージの向上に貢献する労働者を望んでいます。そして、出産や育児のために仕事を休んでも再び復帰して、企業に貢献する女性労働者への期待も高まっています。労働者と事業主が互いに望む職場の形成こそが、男女共同参画社会の実現につながります。

そこで、ワーク・ライフ・バランスなどの男女共同参画を推進する事業所を認定し、その取組を広く紹介するとともに、市内事業所への学習機会の提供を行い、男女共同参画の推進を目標とします。

平成〇年度
職員募集

